

第3回なら県民電子会議室運営委員会議事録

1. 日時:平成19年1月20日(土曜日) 10:00~12:00
2. 場所:奈良市北部会館 3階 第3会議室
3. 出席者:奥家孝彦、小山正樹、川端英志、林正泰、多田充朗、寺村 聡、坂田安男、木谷延高、大矢智子、木村新一、藤本文明
4. 議題:
 - (1)「なら県民電子会議室」普及活動 (事務局)
 - (1)「なら県民電子会議室」広報の概要
 - (2)団体などのメーリングリスト・HP、地域情報雑誌
 - (3)ポスター/単ピラの配布状況
 - (2)各電子会議室の状況報告 (コーディネーター)
 - (1)テーマ1:奈良の魅力の大発見
 - (2)テーマ2:みんなで考える防災対策
 - (3)登録・投稿/アクセス状況 (事務局)
 - (1)投稿者登録状況
 - (2)投稿者/件数
 - (3)アクセス状況
 - (4)登録者コメント(電子会議の活性化について)
 - (4)次期テーマ (事務局)
 - (5)今後の課題と日程
5. 議事の経過の概要及び議決の結果
 - (1)「なら県民電子会議室」普及活動
事務局より
 - (1)「なら県民電子会議室」広報概要
 - (2)団体などのメーリングリスト・HP、地域情報雑誌
 - (3)ポスター(単ピラ)の配布状況について報告があった。(詳細添付資料)
効果の浸透は急には行かないことから、紹介資料の現行の設置場所以外にも拡大を図ると共に現行設置場所のポスター再掲やピラ追加の更新の地道な努力を続けてゆく。

(2) 各電子会議室の状況報告

(2-1) テーマ1: 奈良の魅力の大発見: 担当コーディネーターより報告があった。

1月19日までに、参加者数: 19名、投稿数: 77

経過状況の詳細は別紙報告書の通り。

課題として、引き続き、観光に携わる人や地元の人々の意見、提案をもっと出してもらう工夫に加え、女性、学生、若者の参加、また、奈良の課題(修学旅行生の減少、通過型観光の増加、平城遷都1300年記念事業、宿泊施設の少なさ、南部観光資源開発やアクセス)に対して、魅力アップの議論を深める必要との説明があった。

(2-2) テーマ2: みんなで考える防災対策: 担当コーディネーターより報告があった。

参加者数、投稿数はテーマ1より若干少ないが、同じようなレベル。

テーマ的に一般個人としての投稿がしにくい面があり、自治体、自治会等の団体的な視点での投稿が多くなり勝ちのようである。活性化には投稿方法を見直すなどの検討が必要との状況報告があった。

以上をもとに議論の結果、もうしばらく様子を見ながら、課題に取り組み、投稿数、アクセス数のアップに努力して行くことになった。

(3) 登録/アクセス状況

事務局より登録・投稿/アクセス状況についての報告があった。詳細は添付資料の通り。また、登録者から運営や普及についてのコメントが寄せられており、これらを参考に次期テーマのスタート時期に合わせ、投稿の持続性や動機付けを促す改善を検討して行くこととした。

(4) 次期テーマ

次期テーマ候補として事務局の19項目の提案をもとに議論を行ったが、さらに時間をかけ、これ以外のテーマ案も含め、ネットでの議論を重ね、次回運営委員会までに煮詰めて行くこととした。

また、活性化についてもフリートークや写真投稿の導入の可能性などを検討して行くこととした。

(5) 今後の課題と日程

1. 18年度の電子会議室の年度末のまとめをコーディネーターと事務局で取りまとめる。
2. 19年度の電子会議室の計画(テーマ設定、コーディネーター選任)を2月中にとりまとめる。次期テーマについては、メールにて意見交換してまとめる。次回運営委員会に報告して決める。
3. 第4回運営委員会を3月24日(土)、午後1:30~5:00で予定する。

以上。